

事後評価結果の概要

1 評価対象事業箇所

県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所のうち、12箇所の評価を行いました。

2 評価内容及び結果

評価内容ごとに基準を設け評価を行いました。

| 評価内容 | 評価結果 | | | |
|------------------------|------|---|---|---|
| | A | B | C | D |
| 事業効果の発現状況(直接的効果・間接的効果) | 6 | 5 | 1 | - |
| 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化 | 8 | 4 | - | |
| 施設の維持管理状況 | 9 | 3 | - | - |
| 地域住民等の評価 | 9 | 3 | - | |
| 事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況 | 7 | 5 | - | |

<評価ランクの基準>

| | |
|-----------------------------|---|
| ①事業効果の発現状況 (直接的効果、間接的効果) | A: 目的を超えた達成 B: 達成した C: 概ね達成 D: 達成したとはいえない |
| ②事業実施に伴う自然環境・ 生活環境等の変化 | A: 環境が良くなった B: 大きな影響なし C: 影響が大きい |
| ③施設の維持管理状況 | A: 地域の人たちの参加あり B: 適切 C: やや不十分 D: 不適切 |
| ④地域住民等の評価 | A: 評価が高い B: 中程度の評価(A,C以外) C: 評価が低い |
| ⑤事業の主たる目的以外で 地域社会への貢献状況 | A: 貢献度が高い B: 貢献している C: 特になし |

3 第三者意見の概要

県が事後評価を実施した12箇所を審議(うち3事業を詳細な審議対象として意見聴取)し、県の自己評価は妥当と判断されました。

平成27年度 公共事業事後評価実施箇所一覧

| 事業名 | 箇所名 (市町村名) | 主な事業内容 | 総事業費 (百万円) | 工期 |
|------------|-------------------------------|--|---------------|---------|
| 地すべり防止 | 大平(小谷村) | 山腹工 A=24.60ha 集水井 8基ほか | 1,064 | H11~H21 |
| 急傾斜地崩壊対策等 | 近所(上松町) | 擁壁工 L=374m 法面工 A=1,504m ² | 391 | H16~H21 |
| 県営ため池等整備 | 滝の沢(富士見町) | ため池改修 1箇所 | 82 | H18~H21 |
| 山地治山 | 辛沢(須坂市) | 流路工 L=366m 森林整備 1.64ha | 127 | H17~H21 |
| 水源地域等保安林整備 | 太郎山(上田市) | 山腹工 A=0.75ha、土留工 10 個、落石固定工 A=2330m ² ほか | 129 | H19~H21 |
| 広域河川改修 | (一)農具川 白塩(大田市) | 護岸工 L=1,400m | 1,882 | S63~H21 |
| 道路改築 | (主)松川インター大鹿線 滝沢(中川村~大鹿村) | 道路改築工 L=1,260m W=6.0(8.0)m | 2,213 | H18~H21 |
| 街路 | (都)仲町通線外2線 茅野市 永明(茅野市) | 道路築造工 L=1,048m W=12.0~17.0m | 5,635 | H12~H23 |
| 雪寒対策道路 | (国)148号 白馬駅前 (白馬村) | 無散水消雪施設更新工 L=615m W=6.0(16.0)m | 370 | H20~H23 |
| 交通安全施設等整備 | (国)403号 東江部 (中野市) | 歩道設置工 L=1,100m W=2.5m | 570 | H15~H23 |
| 県営かんがい排水 | 三水(飯綱町) | 用水路工 L=11,290m | 1,673 | H11~H21 |
| 県営中山間総合整備 | 菜の花 2期(飯山市、中野市 (豊田村)、木島平村) | 農業用排水路工 L=14,299m 農道工 L=11,616m ほか | 1,845 | H11~H21 |

(注) 着色: 抽出箇所

4 公共事業評価監視委員会からの主な意見

(1)地すべり防止 大平(小谷村)

- 事業着手時からの情勢変化に伴い、全体事業の見直しを行った良い例である。惰性で事業を進めることなく、時間経過による地元要望の変化などを考慮し、事業完了の判断をしたことは他事業にも反映していただきたい。

↓地すべりによる村道の被害状況

↓地すべり地の空中写真



(2)広域河川改修 (一)農具川 白塩(大町市)

- 地域の人たちと協働による維持管理及び河川の活用が進められた良い例である。河川整備の一つの事例として、今後生かすことが必要である。

↓過去の出水状況

↓親水護岸として小学生などのふれあいの場となっている



(3)交通安全施設等整備 (国)403号 東江部(中野市)

- 事故減少の数字などが見える良い例である。整備効果のわかる写真や整備効果を示したグラフを活用し、わかりやすい評価シートの作成に努めること。

↓歩道整備前(歩道が途切れていたため危ない状態)

↓歩道整備により安全確保され、事故も減っている



(4)抽出以外の箇所

- 抽出以外の9件については、事業効果の発現状況、事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化、施設の維持管理状況、地域住民等の評価、事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況等から各事業の県の自己評価について妥当と判断した。